

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策

③教育効果・成果についての検証と教育プログラムを改善するシステムの構築

《理工農系》

●帯広畜産大学畜産学研究科畜産衛生学専攻

「食の安全性確保の国際標準化による実践教育」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

海外調査を行い、「食の安全確保」のための「国際標準」に基づくカリキュラム改編、英語テキストの作成等を行った。このカリキュラム改編等を進めるにあたり、関係教員のコンセンサスを得ることが困難であった。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

この教育プログラムの趣旨が、必ずしも関係する全ての教員に十分に理解されていないことがあった。これにより、カリキュラム改編や英語テキストの作成作業が若干ではあるが遅れた。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

専攻長とワーキンググループのメンバーを中心に、教育プログラムについての趣旨について、説明を行った。関係教員に十分に教育プログラムの趣旨を理解いただくというのが、その後の持続的なプログラムの推進につながると思う。